

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
1	利尻島湿地群（オタダマリ沼、沼浦湿原、南浜湿原）	北海道	利尻郡利尻富士町	中間湿原、 低層湿原	湿原植生	利尻島湿地群（オタダマリ沼、沼浦湿原、南浜湿原）	オタダマリ沼・沼浦湿原：ヨシ群落、ヨシ・ヌマガヤ群落、アカエゾマツ・クマイザサ群落。林床にイソツツジ、ハイイヌツゲ、ミツバオウレン、ツルコケモモ、モウセンゴケ、ムラサキミズゴケなど生育。南浜湿原：湿原生アカエゾマツ林、ワタスゲ・ミズゴケ群落、ヤマドリゼンマイ群落、ミツガシワ群落、ホロムイイチゴ、イソツツジ、ツルコケモモ、タチギボウシ、エゾゼンテイカなどが多い。
2	利尻島・礼文島周辺沿岸	北海道	利尻郡利尻町・利尻富士町、礼文郡礼文町	藻場	海藻	利尻島・礼文島沿岸	典型的なリシリコンブ群落が形成される。ワカメの北限域である。
3	大沼・メグマ沼湿原、声問川	北海道	稚内市	中間湿原、低層湿原、湖沼、河川	湿原植生	メグマ沼湿原	北海道最北の湿原として重要。ワタスゲ、エゾゼンテイカが優占する。ヨシ・イワノガリヤス群落。ハンノキ林。イソツツジ・チャミズゴケ群落など。ガンコウラン、ヒメシヤクナゲが生育する。
					ガン・カモ類	大沼	コハクチョウの渡来地。10年ほど前から人為的にコハクチョウを誘引した場所。現在3万～4万羽のコハクチョウが4月と10月に飛来する。
					淡水魚類	声問川	イトウの生息地。
4	サルフツ 猿払原野（ポロ沼、カムイト沼、猿骨沼、浅茅野湿原、モケウニ沼、猿払川など）	北海道	宗谷郡猿払村	高層湿原、中間湿原、低層湿原、汽水湖沼	湿原植生	浅茅野湿原（モケウニ沼、カムイト沼、瓢箪沼を含む）	北オホーツク沿岸湿原の原形を残す重要な湿原。湿原生アカエゾマツ林が特に貴重、湿原のケヤマハンノキ林も珍しい。ホロムイイチゴ・ムラサキミズゴケ群落、ヤチスゲ・サンカクミズゴケ群落、ヌマガヤ・ムジナスゲ群落、ヤチャナギ・ムジナスゲ群落、ヨシ・イワノガリヤス群落。ハンノキ林。オヒルムシロ、フトヒルムシロ、オオタヌキモ、タマミクリ、ヒメタヌキモ、イトモ、エビモ類など極めて多様な水生植物を産す。ミツガシワ群落、フトイ群落、マコモ群落、ミクリ群落、コウホネ群落など抽水植物群落。カキツバタ、ワタスゲ、コバイケイソウ、カラマツソウなどが多い。クリイロスゲ、ヒロハオゼヌマスゲ、ハクサンスゲなどスゲ類の希少種もある。カムイト沼にはタテヤママリモが生育。
					水草	猿払原野湖沼群（ポロ沼、カムイト沼他）	北海道北部の腐植栄養湖沼の植生の典型。
					ガン・カモ類	ポロ沼、猿骨沼	コハクチョウ、ヒシクイ（亜種オオヒシクイ）の渡来地。毎年2000～3000羽のコハクチョウが日本に飛来、飛去する際にクッチャロ湖に立ち寄り、また、一時避難などにも利用しており、7000～8000羽が確認される場合がある。
					淡水魚類	猿払原野のイトウ生息地	知来別川、鬼志別川、猿骨川、猿払川など猿払原野のイトウの生息する大小河川と周辺湖沼群。カラフトマス ¹ の自然産卵も見られる。
					淡水貝類	猿払川	カワシンジュガイ（絶滅危惧類）、ミズシタガミ類、マメシジミ類。種の多様性が高い（北方系貝類要素）。
底生動物	猿払原野湖沼群（ポロ沼、モケウニ沼など）	ヤマトシジミ、ヒメシラトリガイなど汽水性ベントスの生息地。					

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
5	クッチャロ湖 ラムサール条約登録湿地	北海道	枝幸郡浜頓別町	低層湿原、潟湖干潟のある汽水湖沼	湿原植生	クッチャロ湖	ヨシ・イワノガリヤス群落、ヤチヤナギ・ムジナスゲ群落、ヤラメスゲ群落などの低層湿原植生と湿原生アカエゾマツ林およびハンノキ林。
					ガン・カモ類	クッチャロ湖	コハクチョウの渡来地。
					底生動物	クッチャロ湖	ヤマトシジミなどの汽水性ベントスの生息地。
6	サロベツ原野（サロベツ湿原、長沼湖沼群、ペンケ沼、パンケ沼、兜沼）	北海道	天塩郡豊富町・幌延町・天塩町ほか	高層湿原など複合型の湿地、湖沼、河川	湿原植生	サロベツ原野（サロベツ湿原、長沼湖沼群、ペンケ沼、パンケ沼、兜沼）	サロベツ原野にはホロムイイチゴ・イボミズゴケ群落、ヌマガヤ・イボミズゴケ群落、ホロムイソウ・ミカヅキグサ群落、ナガバノモウセンゴケ・ウツクシミズゴケ群落、ヌマガヤ・ホロムイヌスゲ群落、ヨシ・イワノガリヤス群落、ハンノキ林。湖沼にはオヒルムシロ、ジュンサイ、ヒシなど多種の水生植物群落が分布。
					水草	サロベツ海岸湖沼群	稚咲内砂丘に成立した湖沼群。コウホネ類などが多産。
					ガン・カモ類	サロベツ原野（ペンケ沼、兜沼、旧天塩川）	ヒシクイ(亜種オオヒシクイ)の渡来地。
					爬虫両生類	サロベツ原野	コモチカナヘビの生息地。
					淡水魚類	サロベツ原野のイトウ生息地	サロベツ川などサロベツ原野のイトウの生息する河川、湖沼。
					昆虫類	サロベツ原野	チャバネエンマコガネ、カラフトマルガタゲンゴロウ、イイジマルリボシヤンマの生息地。
					底生動物	天塩川（河口域）	ヤマトシジミなどの生息地。
					底生動物	サロベツ原野湖沼群（パンケ沼、ペンケ沼など）	ヤマトシジミなどの低塩分性ベントスの生息地。
7	テシオ天塩川	北海道	天塩郡天塩町・幌延町・豊富町、中川郡中川町・音威子府町・美深町、名寄市、上川郡下川町	河川	淡水魚類	天塩川	チョウザメ（遡上の記録は途絶えたが定置網で捕獲）、イトウの生息地。
8	松山湿原・ピヤシリ湿原	北海道	中川郡美深町、紋別郡雄武町	高層湿原	湿原植生	松山湿原・ピヤシリ湿原	松山湿原には、ミネハリイ・ワタミズゴケ群落、ミガエリスゲ・ムラサキミズゴケ群落、イソツツジ・チャミズゴケ群落、ミカヅキグサ・ワタミズゴケ群落、ヤチスゲ群落、湿原生アカエゾマツ林。ピヤシリ湿原は、3.5haの小規模な湿原。ホロムイソウ・ミカヅキグサ群落、ムラサキミズゴケ群落など。ホロムイイチゴ、エゾゴゼンタチバナ、ガンコウランなどを産す。
					昆虫類	松山湿原	トンボ類が豊富で、トリキンバエを産する。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
9	コムケ湖	北海道	紋別市	低層湿原、塩性湿地、瀉湖	湿原植生	コムケ湖	ハンノキ・ヨシ群落、オオカサスゲ群落、ガマ群落、フトイ群落、ミツガシワ群落、オニビシ群落。
					シギ・チドリ類	コムケ湖	春秋の渡り期の種数・個体数が多く、アカエリヒレアシギでは最小推定個体数の1%以上、メダイチドリ、チュウシャクシギ、ハマシギでは0.25%以上が記録されている。RDB種のヘラシギ、セイタカシギ、アカアシシギ、ホウロクシギ、オオジシギが記録されている。
					ガン・カモ類	コムケ湖・シブノツナイ湖	オオハクチョウ、オナガガモ、ヒドリガモの渡来地。
					底生動物	コムケ湖	カキ、ホッカイエビなどの生息地。
10	シブノツナイ湖	北海道	紋別市、紋別郡湧別町	瀉湖	ガン・カモ類	コムケ湖・シブノツナイ湖	オオハクチョウ、オナガガモ、ヒドリガモの渡来地。
					底生動物	シブノツナイ湖	ヤマトシジミなどの汽水性ベントスの生息地。
11	サロマ湖	北海道	常呂郡常呂町、佐呂間町、紋別郡湧別町	塩性湿地及び瀉湖干潟のある汽水湖沼、藻場	湿原植生	サロマ湖	塩沼地植生（アッケシソウ、ウミミドリ、オオシバナ、ウシオツメクサ、ハマシオンの群落）。海岸草原群落はハマナス、エゾゼンテイカ、エゾスカシユリなどの群落とエゾノコリンゴ群落。
					海草	サロマ湖	日本最大の瀉湖性アマモ場。広大なアマモ群落。
					ガン・カモ類	サロマ湖	オオハクチョウ、コハクチョウ。11月下旬にオオハクチョウ約800羽、コハクチョウ約200羽。
					底生動物	サロマ湖	湖底にはカキ礁遺骸が存在。ホタテガイ、ホッカイエビ、カキなどの重要な生息地。
12	ノトロ能取湖	北海道	網走市	低層湿原及び瀉湖干潟のある汽水湖沼、藻場	海草	能取湖	スゲアマモの広大な藻場で、分布は湖内の西岸。スゲアマモの単純群落では国内最大、その他、アマモ、コアマモの群落がある。
					ガン・カモ類	能取湖	オオハクチョウ、ヒシクイ(亜種ヒシクイ)の渡来地。
					底生動物	能取湖	ホタテガイ、ホッカイエビの重要な生息地。
13	網走湖	北海道	網走市、網走郡女満別町	低層湿原及び瀉湖干潟のある汽水湖沼	湿原植生	網走湖	女満別側には国指定天然記念物の大規模なハンノキ・ミズバショウ群落がある。ヤチダモ、ハルニレ、エゾノウワミズザクラ、エゾイラクサ、クサソテツ、オニシモツケ、オオバナノエンレイソウなどが生育。
					その他鳥類	網走湖・濤沸湖	タンチョウの生息地。
					底生動物	網走湖	ヤマトシジミなどの重要な生息地。網走川下流にはエゾホトケ（淡水魚類）も生息する。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
14	モコト 藻琴湖、トウフツ 濤沸湖、小清水原生花 園	北海道	網走市、斜里郡小清 水町	低層湿原及 び瀉湖干潟 のある汽水 湖沼、藻場	湿原植生	濤沸湖	塩沼地にオオシバナ、ホソバノシバナ、エゾツルキンバイの群落、淡水湿地にはヨシ群落、ヤラメスゲ群落、ヌマガヤ - ヤチヤナギ群落、ハンノキ林。
					海草	濤沸湖	コアマモの生育地。
					ガン・カモ類	濤沸湖	ヒシクイ(亜種ヒシクイ)、オオハクチョウ、ヒドリガモ、ミコアイサ、ウミアイサの渡来地。
					その他鳥類	網走湖・濤沸湖	タンチョウの生息地。
					昆虫類	小清水原生花園	カラフトキリギリス、アカメイトトンボ、カラフトシマゲンゴロウ、アナバネコツブゲンゴロウの生息地。
					底生動物	藻琴湖・濤沸湖など	ヤマトシジミ、カキなどの重要な生息地。濤沸湖にはアサリも生息。
15	知床半島サケ・カラフトマス遡上河川	北海道	斜里郡斜里町、目梨郡羅臼町、標津郡標津町	河川	淡水魚類	知床半島サケ・カラフトマス遡上河川群	種苗放流のない唯一のサケ、カラフトマス生息地。自然遡上がある。
16	知床半島山稜湿原(羅臼湖、二ツ池、知床沼高山湿原)	北海道	目梨郡羅臼町	高層湿原	湿原植生	知床半島山稜湿原(羅臼湖、二ツ池、知床沼高山湿原)	羅臼湖岸とその周辺に点在する小湿原にはミズドクサ群落、ヤラメスゲ群落、ムジナスゲ群落、オニナルコスゲ群落、ヨシ - イワノガリヤス群落、チングルマ - イボミズゴケ群落、チシマミクリ群落など。二ツ池：高山湿原。ヤチスゲ群落、チングルマ - イボミズゴケ群落、タカネクロスゲ群落、ミネズオウ - クロマメノキ群落。知床沼：チングルマ - イボミズゴケ群落。
17	知床半島東部沿岸	北海道	目梨郡羅臼町	藻場	海藻	知床半島東部沿岸	ルサ～知床岬。コンブ目7種、うち希少種1種。コンブ、その他海藻は暖寒両系から成り、生態的景観に優れる。クナシリ、エトロフ島に分布する種との関連性が深い。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
18	ノツケ 野付半島・野付湾・尾岱沼 オダイトウ	北海道	標津郡標津町、野付郡別海町	低層湿原、塩性湿地、藻場	湿原植生	野付半島・尾岱沼	塩沼地植生は、オオシバナ、ウミミドリ、ウシオツメクサ、エゾツルキンバイの群落、淡水湿地は沼沢湿原。フトイ群落、サジオモダカ群落、スギナモ群落、オオヌマハリイ - ヒメハリイ群落、ガマ群落、ミツガシワ群落、ムジナスゲ群落、ワタスゲ群落にはムラサキミズゴケ、イソツツジ、チシマガリヤス、ヤチカワズスゲなどが生育。
					海草	野付湾	日本でもっとも広大で非常によく発達したアマモ群落。ホッカイエビの主漁場。分布は、ほぼ湾内の全面。アマモとオオアマモの群生地。ホッカイエビの生息場所。
					シギ・チドリ類	野付崎・尾岱沼	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多く、キョウジョシギ、キアシシギでは最小推定個体数の1%以上、ダイゼンでは0.25%以上が記録されている。RDB種のアカアシシギ、オオジシギが記録されている。
					ガン・カモ類	野付湾	オオハクチョウ、コクガン、スズガモ、ホオジロガモ、ヒドリガモの渡来地。
					その他鳥類	野付半島と近隣河川	タンチョウの生息地。営巣数の約7%が存在。
					淡水魚類	根釧原野のイトウ生息地	伊茶仁川、標津川、当幌川、春別川、床丹川、西別川、風蓮川、琵琶瀬川、別寒辺牛川、釧路川、阿寒川など根釧原野のイトウ、ヤチウグイの生息する大小河川と周辺湖沼群。
					底生動物	野付湾・尾岱沼	ホッカイエビ、アサリなどの重要生息地。
19	標津湿原	北海道	標津郡標津町	高層湿原、河川	湿原植生	標津湿原	国指定天然記念物。イソツツジ - チャミズゴケ群落、ヌマガヤ - チャミズゴケ群落、ヌマガヤ - ホロムイソグケ群落、ハンノキ林。エゾゴゼンタチバナ、ガンコウラン、コケモモ、ミツバオウレン、ミガエリスゲなどを多く産す。
					その他鳥類	標津湿原（ポー川、標津川、当幌川などの流域）	タンチョウの生息地。
					淡水魚類	根釧原野のイトウ生息地	伊茶仁川、標津川、当幌川、春別川、床丹川、西別川、風蓮川、琵琶瀬川、別寒辺牛川、釧路川、阿寒川など根釧原野のイトウ、ヤチウグイの生息する大小河川と周辺湖沼群。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
20	パラサン 茨散沼湿原、兼金沼・西別川湿原	北海道	野付郡別海町	低層湿原、中間湿原、高層湿原、河川、湖沼	湿原植生	茨散沼湿原、兼金沼・西別川湿原	茨散沼湿原は低層湿原でヨシ・イワノガリヤス群落とヤチヤナギ・ムジナスゲ群落、ヤラメスゲ群落、カキツバタ群落、ヤチスゲ・サギスゲ群落、ハンノキ林。茨散沼にはフトイ群落、マコモ群落、ジュンサイなどの水生植物群落。兼金沼・西別川湿原：西別川流域の兼金沼、西別小沼とその周辺には広大な谷湿原が残存し、イソツツジ・チャミズゴケ群落、ヌマガヤ・イボミズゴケ群落、ヌマガヤ・ムジナスゲ群落、ヨシ・イワノガリヤス群落、ハンノキ林が分布。タンチョウの営巣地としても重要な湿原。西別川上流域にはヤチカンバが隔離分布し、カンチスゲ、ノルゲスゲなど希少種を産する湿原もある。
					その他鳥類	茨散沼湿原、兼金沼・西別川湿原	タンチョウの生息地。
					淡水魚類	根釧原野のイトウ生息地	伊茶仁川、標津川、当幌川、春別川、床丹川、西別川、風蓮川、琵琶瀬川、別寒辺牛川、釧路川、阿寒川など根釧原野のイトウ、ヤチウグイの生息する大小河川と周辺湖沼群。
21	根室湿原群（根室半島湿原、ホロニタイ・フレシマ湿原、タンネ沼・オンネ沼、南部沼、長節沼、落石岬湿原、落石西湿原、落石湿原、ヒキウス沼、沖根辺沼）	北海道	根室市	高層湿原など複合型湿地、湖沼	湿原植生	根室半島湿原群（根室半島湿原、ホロニタイ・フレシマ湿原、タンネ沼・オンネ沼・南部沼・長節沼、落石岬湿原、落石西湿原、落石湿原）	歯舞の台地には高層湿原が発達している。主要な植生はヌマガヤ・イボミズゴケ群落とイソツツジ・チャミズゴケ群落、ムジナスゲ群落、ミクリ属群落、ケヤマハンノキ林。ガンコウラン、イソツツジ、エゾマルバシモツケ、クロマメノキ、コケモモ、エゾゴゼンタチバナ、ホロムイクグ、アラハシラガゴケなどを産す。落石岬とその周辺台地の湿原植生は湿原生アカエゾマツ林のほか、ヌマガヤ・イボミズゴケ群落、イソツツジ・チャミズゴケ群落。落石岬にはサカイツツジが隔離分布する。海岸低地湖沼周辺の湿地にはヨシ・イワノガリヤス群落とヤチヤナギ・ムジナスゲ群落を中心とする低層湿原。水辺にはヤラメスゲ群落やフトイ群落、ガマ群落、その他水生植物群落。
					水草	南部沼・オンネ沼・長節沼	ネムロコウホネ、沈水性ヒルムシロ属等の種の多様性が大きく、特に南部沼・オンネ沼は環境が悪化しておらず道東本来の湖沼植生が残る。
					その他鳥類	根室湿原群（フレシマ湿原、タンネ沼・オンネ沼、ヒキウス沼、沖根辺沼）	タンチョウの生息地。営巣数の約4%が存在。
					昆虫類	落石岬	カラフトルリシジミ、オクエゾマメゲンゴロウ、ノサップマルハナバチの生息地。
					淡水貝類	根室湿原群・別寒辺牛湿原・釧路湿原	ミズシタダミ類、マメシジミ類。種の多様性が高い（北方系貝類要素）。
22	根室湾干潟	北海道	根室市	複合型の湿地、干潟	底生動物	根室湾干潟	砂質の干潟。オオノガイ、ウバガイなどの生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
23	フウレン シュンクニタイ 風蓮湖・春国岱・温根沼および 周辺湿原群	北海道	根室市、野付郡別海 町	低層湿原な ど複合型の 湿地、河川、 湖沼、藻場	湿原植生	風蓮川湿原	風蓮湖に注ぐ風蓮川下流域に広がる湿原で規模が大きく、かつ人為の影響が比較的少ない湿原。ヨシ・イワノガリヤス群落、ヤチヤナギ・ムジナスゲ群落、ヤラメスゲ群落、ミツガシワ群落、ハンノキ林を主体とする低層湿原であるが、ムラサキミズゴケ、ワラミズゴケ、クシノハミズゴケ、ヒメミズゴケ、オオミズゴケなど多種のミズゴケハンモックの群落が生息する。湿原中心部にはイソツツジ・チャミズゴケ群落が生息し、チャミズゴケハンモックが著しく発達している。チシマガリヤス、コケモモ、ガンコウラン、イソツツジなどを産す。
					湿原植生	走古丹湿原	風蓮湖北岸、西別川下流域の広大な湿原であり、タンチョウが営巣している。ヌマガヤ・イボミズゴケ群落、イソツツジ・チャミズゴケ群落、ヤチヤナギ・ムジナスゲ群落、ヤラメスゲ群落、ヨシ・イワノガリヤス群落、ハンノキ林。
					湿原植生	風蓮湖湿原・春国岱・ 温根沼	オオシバナ群落、ヒメウシオスゲ群落などの塩沼地植生が中心で、ウミドリ、ウシオツメクサ、エゾツルキンバイ、チシマドジョウツナギ、ドロイが生息する。淡水湿地にはフトイ群落、ガマ群落、ヨシ・チシマガリヤス群落、ヨシ・ヤラメスゲ群落、ハンノキ・ヤチダモ林、砂丘生アカエゾマツ林（林床はミズバショウが優占）。
					海草、海藻	風蓮湖	広大な干潟とアマモ場（アマモ・コアマモ）。分布はほぼ湖内全面。アマモ・コアマモの群生地、ニシン、サケなどの重要な産卵・幼魚期成育場所。湖内の走古丹から湖口に至る澁筋内に湖沼性コンブ1種がかなり多量に生育している。
					海草	温根沼	コアマモの生育地。
					シギ・チドリ類	風蓮湖	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多く、ミヤコドリ、メダイチドリ、キアシシギ、では最小推定個体数の1%以上、キョウジョシギ、ツルシギ、アオアシシギ、ハマシギでは0.25%以上が記録されている。RDB種のヘラシギ、セイケシギ、アカアシシギ、ホウロクシギ、オオジシギが記録されている。
					ガン・カモ類	風蓮湖・温根沼	オオハクチョウ、ヒシクイ(亜種ヒシクイ)、コクガン、ヒドリガモ、オナガガモ、スズガモ、ホオジロガモの渡来地。
					その他鳥類	風蓮湖と周辺の湿原・ 河川（風蓮湖、春国 岱、走古丹、温根沼、 風蓮川とその支流、ヤ ウシュベツ川、ボンヤ ウシュベツ川）	タンチョウの生息地。営巣数の25%以上が存在。
					淡水魚類	根釧原野のイトウ生息 地	伊茶仁川、標津川、当幌川、春別川、床丹川、西別川、風蓮川、琵琶瀬川、別寒辺牛川、釧路川、阿寒川など根釧原野のイトウ、ヤチウグイの生息する大小河川と周辺湖沼群。
					底生動物	風蓮湖	アサリなどの生息地。
底生動物	温根沼	アサリなどの生息地。					

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
24	ユルリ島湿原	北海道	根室市	高層湿原	湿原植生	ユルリ島湿原	高層湿原。クロマメノキ - チャミズゴケ群落、ムジナスゲ - ワタスゲ群落、ヨシ - タチギボウシ群落、ヤラメスゲ群落。クロマメノキ、ガンコウラン、リシリビャクシン、マルバシモツケ、タカネナナカマド、ホロムイクグ、ハナゴケ、アラハシラガゴケなどを産する。
25	ヒチリップ、モチリップ 火散布沼・藻散布沼	北海道	厚岸郡浜中町	低層湿原など複合型の湿地、湖沼、藻場	湿原植生	火散布沼・藻散布沼	塩沼地植生（オオシバナ、ウミミドリなど）とヨシ - イワノガリヤス群落、ヤラメスゲ群落。
					海草	火散布沼	コアマモの生育地。
					その他鳥類	火散布沼・藻散布沼	タンチョウの生息地。
					底生動物	火散布沼・藻散布沼	アサリ、カキの生息地。
26	霧多布湿原・幌戸湿原およびその地先沿岸（琵琶瀬湾・浜中湾） ラムサール条約登録湿地	北海道	厚岸郡浜中町	高層湿原など複合型の湿地、河川、湖沼、藻場、汽水湖沼	湿原植生	霧多布湿原・幌戸湿原	ヌマガヤ - イボミズゴケ群落、ヌマガヤ - チャミズゴケ群落、ヌマガヤ - ワタスゲ群落、ヌマガヤ - ムジナスゲ群落、ヤチスゲ群落、ミカツキグサ群落、ヨシ - イワノガリヤス群落、ハンノキ林。ジュンサイ、ヒシ、オヒルムシロなど各種水生植物群落。
					海草	ポロト沼	幌戸湿原の中にある汽水の沼で、コアマモが生育する。
					海草	浜中地先沿岸	オオアマモの生育地。
					ガン・カモ類	琵琶瀬湾	コクガンの渡来地。
					その他鳥類	霧多布湿原・幌戸沼	タンチョウの生息地。営巣数の約5%が存在。
					淡水魚類	根釧原野のイトウ生息地	伊茶仁川、標津川、当幌川、春別川、床丹川、西別川、風蓮川、琵琶瀬川、別寒辺牛川、釧路川、阿寒川など根釧原野のイトウ、ヤチウグイの生息する大小河川と周辺湖沼群。
					昆虫類	霧多布湿原	カラカネイトトンボ、エゾアオイトトンボ、イジマルリボシヤンマ、ホソミモリトンボ、エゾアカネ、カオジロトンボの生息地。リシリハマキ、カラフトスカシバ、カオジロトンボ、カラカネイトトンボ、イジマルリボシヤンマ、セダカオサムシ、アイヌキンオサムシなど北方系で草原に由来するような種が多い。セアカアメンボ、ババアメンボ、ヒメアメンボなどのアメンボ類、トンボ類が豊産する。
					底生動物	琵琶瀬湾および琵琶瀬川河口	アサリなどの生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
27	厚岸湖 ラムサール条約登録湿地 （「厚岸湖・別寒辺牛湿原」として登録）	北海道	厚岸郡厚岸町	汽水湖沼、藻場	湿原植生	厚岸湖	塩沼地植生（アッケシソウ、ウミミドリ、エゾツルキンバイ、ウシオツメクサ、オオシバナ群落）、ヨシ・スゲ群落など。
					海草、海藻	厚岸湖	アマモ、コアマモの生育地。澁筋にはエナガコンブが生育している。
					ガン・カモ類	厚岸湖	オオハクチョウの渡来地。
					その他鳥類	厚岸湖	タンチョウの生息地。
					底生動物	厚岸湖	アサリ、カキの生息地。
28	厚岸湾	北海道	厚岸郡厚岸町、釧路郡釧路町	藻場、浅海域	海草、海藻	厚岸湾	大黒島、小島（外海域）アイニンカップ岬の周辺海域およびアイカップ岬の沿岸域。海洋条件の異なる場所に応じた各種コンブ目11種が豊富に生育し、生態的景観に極めて優れる。寒流系コンブ類の多様性が見られる典型的な海域。国内最大のオオアマモの単純群落が見られる唯一の場所。スガモ、アマモも生育する。
					底生動物	厚岸湾	アサリの生息地。
29	ベカンベウシ 別寒辺牛湿原 ラムサール条約登録湿地 （「厚岸湖・別寒辺牛湿原」として登録）	北海道	川上郡標茶町、厚岸郡厚岸町	高層湿原など複合型湿地、河川	湿原植生	別寒辺牛湿原	広大な低層湿原。中流域に高層湿原が発達。低層湿原はヨシ・イワノガリヤス群落とヤチヤナギ・ムジナスゲ群落、ヤマメスゲ群落、ハンノキ林。高層湿原ではイソツツジ・チャミズゴケ群落、イボミズゴケ群落、ホロムイソウ・ミカヅキグサ群落。カンチスゲ、ホロムイクグ、シロミノハリイ、イトナルコスゲ。
					その他鳥類	別寒辺牛川流域	タンチョウの生息地。営巣数の14%が存在。
					淡水魚類	根釧原野のイトウ生息地	伊茶仁川、標津川、当幌川、春別川、床丹川、西別川、風蓮川、琵琶瀬川、別寒辺牛川、釧路川、阿寒川など根釧原野のイトウ、ヤチウグイの生息する大小河川と周辺湖沼群。
					淡水貝類	根室湿原群・別寒辺牛湿原・釧路湿原	ミズシタダミ類、マメシジミ類。種の多様性が高い（北方系貝類要素）。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
30	釧路湿原（赤沼、塘路湖、達古武沼、遠矢採草地、シラルトロ湖などを含む） ラムサール条約登録湿地	北海道	釧路市、釧路郡釧路町、阿寒郡鶴居村、川上郡標茶町	高層湿原など複合型の湿地、河川、湖沼	湿原植生	釧路湿原（赤沼、塘路湖、達古武沼、遠矢採草地、シラルトロ湖等含む）	広大な低層湿原。植生はヨシ - イワノガリヤス群落、ヤチャナギ - ムジナスゲ群落、ヤラメスゲ群落、ハンノキ林。林床植生はカブスゲの谷地坊主とホザキシモツケ、ヒメカイウ、ナガバツメクサ、ヒメシダが多いのが特徴。温根内赤沼とキラコタン岬周辺の中・高層湿原の植生はイソツツジ - チャミズゴケ群落、ワタスゲ - イボミズゴケ群落、ホロムイソウ - ミカヅキグサ群落、イソツツジ - チシマガリヤス群落。池沼には水生植物群落が豊富。ミズゴケの種類も豊富。達古武沼にマリモ生育。
					水草	釧路湿原（シラルトロ湖、達古武沼）	（シラルトロ湖）ナガバエビモ、カラフトグワイ等の絶滅危惧種はじめ多数水生植物の良好な生育地。近年の変化急激。（達古武沼）釧路湿原内の湖沼では水生植物の種の多様性、現存量とも最大。近年の変化は急激。
					ガン・カモ類	釧路湿原（シラルトロ湖、赤沼、塘路湖、達古武沼、遠矢採草地）	オオハクチョウ、ヒシクイ(亜種ヒシクイおよびオオヒシクイ)の渡来地。
					その他鳥類	釧路湿原	タンチョウの生息地。営巣数の30%以上が存在。
					淡水魚類	根釧原野のイトウ生息地	伊茶仁川、標津川、当幌川、春別川、床丹川、西別川、風蓮川、琵琶瀬川、別寒辺牛川、釧路川、阿寒川など根釧原野のイトウ、ヤチウグイの生息する大小河川と周辺湖沼群。釧路川中流域の磯分内の沼にはエゾホトケも生息する。
					爬虫両生類	釧路湿原	キタサンショウウオの生息地。
					昆虫類	釧路湿原	カラカネイトトンボ、アカメイトトンボ、エゾアオイトトンボ、イイジマルリボシヤンマ、コエゾトンボ、キバネモリトンボ、ホソモリトンボ、エゾカオジロトンボの生息地。アカメイトトンボ、エゾカオジロトンボ、イイジマルリボシヤンマ、キスジホソハムシ、オオシマゲンゴロウ、ゲンゴロウモドキ、キタアカジマウンカなど湿原に由来する昆虫が多い。
					淡水貝類	根室湿原群・別寒辺牛湿原・釧路湿原	ミズシタダミ類、マメシジミ類。種の多様性が高い（北方系貝類要素）。
31	シカリベツ然別湖	北海道	河東郡上士幌町・鹿追町	湖沼	淡水魚類	然別湖	ミヤベイワナの生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
32	阿寒湖とその流入・流出河川 (パンケトウ、ペンケトウを含む)	北海道	阿寒郡阿寒町	湖沼、河川	淡水藻類	阿寒湖	絶滅危惧 類のヒメフラスコモ、カタシャジクモ、シャジクモおよびマリモが生育。
					その他鳥類	阿寒川・仁々志別川	タンチョウの生息地。
					淡水魚類	阿寒湖	アジアにおけるヒメマス天然分布の南限地。
					淡水魚類	根釧原野のイトウ生息地	伊奈仁川、標津川、当幌川、春別川、床丹川、西別川、風蓮川、琵琶瀬川、別寒辺牛川、釧路川、阿寒川など根釧原野のイトウ、ヤチウグイの生息する大小河川と周辺湖沼群。
					淡水貝類	阿寒湖とその流入・流出河川	カワシンジュガイ(絶滅危惧 類)、マメシジミ類。種の多様性が高い(北方系貝類要素)。
33	パシコルトウ 馬主来沼	北海道	白糠郡白糠町・音別町	低層湿原など複合型の湿地	湿原植生	馬主来沼	低層湿原はヨシ・イワノガリヤス群落、ハンノキ林、水生植物群落。
					その他鳥類	馬主来沼	タンチョウの生息地。
34	十勝海岸湖沼群(十勝川河口湿原、長節沼、湧洞沼、キモントウ、生花苗沼、当縁湿原、ホロカヤントウ沼など)	北海道	中川郡豊頃町、広尾郡大樹町	低層湿原など複合型の湿地、湖沼、藻場	湿原植生	十勝海岸湖沼群(十勝川河口湿原、長節沼、湧洞沼、キモントウ、生花苗沼、当縁湿原、ホロカヤントウ沼など)	沼沢湿原と低層湿原。ヨシ・イワノガリヤス群落、ヤチヤナギ・ムジナスゲ群落、ヤマメスゲ群落。ハンノキ林。小規模であるがヌマガヤ群落もある。湖沼ではフトイ群落、マコモ群落、ミツガシワ群落のほかエゾノミズタデ、ヒシ、タヌキモ、コウホネ、ジュンサイなどの水生植物群落が分布。
					海草	湧洞沼	コアマモの生育地。
					ガン・カモ類	十勝沿岸湖沼群(湧洞沼、長節沼、キモントウ、ホロカヤントウ、生花苗沼、当縁湿原)	ヒシクイ(亜種オオヒシクイ)、マガンの渡来地。
					その他鳥類	十勝海岸湖沼群	タンチョウの生息地。営巣数の約6%が存在。
					底生動物	豊頃町湖沼群(長節沼、湧洞沼など)	ヤマトシジミなどの汽水性ベントスの生息地。
35	十勝川下流域湖沼群(三日月沼、育素多沼、池田キモントウなど)	北海道	中川郡豊頃町、浦幌郡浦幌町、中川郡池田町	複合型の湿地、湖沼	水草	十勝川水系河跡湖群	河跡湖が多数残り、水生植物の種の多様性も高い。ヒンジモが生育する沼あり。河跡湖は消滅が相次いでおり、要注目。
					ガン・カモ類	十勝川下流域湖沼群(三日月沼、育素多沼、池田キモントウ)	ヒシクイ(亜種オオヒシクイ)の渡来地。
					その他鳥類	十勝川流域	タンチョウの生息地。営巣数の約6%が存在。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
36	襟裳岬周辺沿岸	北海道	幌泉郡えりも町	藻場	海藻	襟裳岬周辺沿岸	襟裳岬を中心とする庶野～えりも漁港の沿岸域。磯がよく発達。コンブ目4種。主とするミツイシコンブは、襟裳岬の東西で形態を異にする。最近他海域から別種コンブ類の侵入の懸念があり、注目すべき海域。
37	シユマリナイ 朱鞠内湖とその上流域	北海道	雨竜郡幌加内町	河川、湖沼	淡水魚類	朱鞠内湖とその上流域	イトウの生息地。
38	浮島湿原	北海道	上川郡上川町	高層湿原	湿原植生	浮島湿原	ヌマガヤ - イボミズゴケ群落、イソツツジ - チャミズゴケ群落、ミカツキグサ - ワタミズゴケ群落、ホロムイソウ - ミカツキグサ群落、ヤチスゲ - カラフトホシクサ群落、フトヒルムシロ群落、湿原生アカエゾマツ林。
					昆虫類	浮島湿原	キイロマツモムシ、ヒメミズギワカメムシ、イジマルリボシヤンマの生息地。
39	大雪山系トムラウシ山周辺湿原群（高根ヶ原、忠別沼、五色ヶ原、沼ノ原、ヒサゴ沼、銀杏が原湿原、トムラウシ南麓湿原など）	北海道	上川郡新得町・上川町	高層湿原、雪田草原	湿原植生	大雪山系トムラウシ山周辺湿原群（高根ヶ原、忠別沼、五色ヶ原、沼ノ原、ヒサゴ沼、銀杏が原湿原、トムラウシ南麓湿原など）	沼ノ原湿原にはチシマミクリ群落、フトヒルムシロ群落、クロヌマハリイ群落、ミツガシワ群落、エゾホソイ群落、ホロムイソウ - ミカツキグサ群落、ナガバノモウセンゴケ - ウツクシミズゴケ群落、ナガバノモウセンゴケ - フサバミズゴケ群落、ミヤマミズゴケ群落、イボミズゴケ群落、湿原生アカエゾマツ林。忠別沼周辺高山湿原にはミヤマヤチヤナギ - チャミズゴケの群落、ムセンズゲやミヤマホソコウガイゼキショウの群落。高根ヶ原周辺高山湿原にはエゾワタスゲの生育するミズゴケ群落がある。五色ヶ原、ヒサゴ沼周辺には、広大な高山雪田群落が見られる。
					昆虫類	トムラウシ山湿原群（五色ヶ原、沼の原、ヒサゴ沼、銀杏が原湿原、トムラウシ南麓湿原など）	タカナメゲンゴロウ、クモエゾトンボ、ダイセツマメゲンゴロウ、ダイセツマルクビゴミムシの生息地。
40	大雪山系旭岳周辺湿原群（天人ヶ原湿原、沼ノ平湿原、雲井ヶ原など）	北海道	上川郡上川町、東川町	中間湿原、高層湿原	湿原植生	大雪山系旭岳周辺湿原群（天人ヶ原湿原、沼ノ平湿原、雲井ヶ原など）	チシマミクリ群落、フトヒルムシロ群落、クロヌマハリイ群落、ミツガシワ群落、ミカツキグサ - ウツクシミズゴケ群落、ミカツキグサ - サンカクミズゴケ群落、ミヤマイヌノハナヒゲ - ワタミズゴケ群落、ミネハリイ - キダチミズゴケ群落、イボミズゴケ群落、湿原生アカエゾマツ林。
41	ウリュウ 雨竜沼湿原（恵岱岳湿原、群馬岳湿原などを含む）	北海道	雨竜郡雨竜町	高層湿原	湿原植生	雨竜沼湿原（恵岱岳湿原、群馬岳湿原などを含む）	恵岱岳、群馬岳、南暑寒岳東斜面の小湿原を含む。雨竜沼湿原は道指定天然記念物。ヌマガヤ - イボミズゴケ群落、ヌマガヤ - キダチミズゴケ群落、ヌマガヤ - ホロムイソウ群落、ホロムイソウ - ミカツキグサ群落、ウツクシミズゴケ群落。池塘や川の水生物群落が多様で、ホソバウキミクリ群落、ウキミクリ群落、カラフトカサゲ群落、ミツガシワ群落、カキツバタ群落、ミズドクサ群落、オオカサゲ群落、ヤラメスゲ群落などがある。河辺植生はイワノガリヤス - コバイケイソウ群落。
					昆虫類	暑寒別岳湿原群（雨竜沼湿原、恵岱岳湿原）	チビコガシラミズムシ、ベニヒカゲ、ショカンベツチビゴミムシの生息地。
42	原始ヶ原湿原	北海道	空知郡上富良野町、富良野市	高層湿原	湿原植生	原始ヶ原湿原	ヌマガヤ - ホロムイソウ群落、ミヤマイヌノハナヒゲ - ワタミズゴケ群落、ヌマガヤ - イボミズゴケ群落、ヤチスゲ群落、ホロムイソウ - ミカツキグサ群落、ウツクシミズゴケ群落、フトヒルムシロ群落、クロヌマハリイ群落。
43	金山湖とその上流域	北海道	空知郡南富良野町	河川、湖沼	淡水魚類	金山湖とその上流域	イトウの生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
44	美唄湿原	北海道	美唄市	高層湿原	湿原植生	美唄湿原	ヌマガヤ - イボミズゴケ群落、オオイヌノハナヒゲ - ワタミズゴケ群落、チマキザサ群落。シラカンバ - チマキザサ群落。
45	ツキガウミ月ヶ湖湿原	北海道	樺戸郡月形町	高層湿原	湿原植生	月ヶ湖湿原	ヌマガヤ - イボミズゴケ群落、オオイヌノハナヒゲ - ミカツキグサ群落、ヤマウルシ - ヌマガヤ群落、チマキザサ群落。シラカンバ - チマキザサ群落。
46	オサツ旧長都沼および周辺水田	北海道	夕張郡長沼町、千歳市	水田	ガン・カモ類	旧長都沼および周辺水田	コハクチョウ、ヒシクイ、マガンの渡来地。
47	石狩川流域湖沼群（宮島沼、袋地沼、手形沼、三日月沼、浦臼沼、浦臼新沼、茶志内沼など）	北海道	砂川市、樺戸郡新十津川町、美唄市、空知郡奈井江町	湖沼	ガン・カモ類	石狩川流域湖沼群（宮島沼、袋地沼、手形沼、三日月沼、浦臼沼、浦臼新沼、茶志内沼など）	オオハクチョウ、コハクチョウ、シジュウカラガン、ヒシクイ(亜種オオヒシクイ)、マガン、オナガガモの渡来地。
48	石狩川（河口域）	北海道	石狩市	河川	底生動物	石狩川（河口域）	ヤマトシジミなどの生息地。
49	千歳川	北海道	千歳市	河川	淡水貝類	千歳川	カワシンジュガイ（絶滅危惧 類）の多産地。
50	ユウフツ ^{ヒビ} 勇払平野湿原群（美々川、美々川湿原、ウトナイ湖、トキサタマップ湿原、弁天沼、柏原東湿原、平木沼湖沼群朝日沼など） ラムサール条約登録湿地（ウトナイ湖）	北海道	苫小牧市、千歳市、勇払郡早来町・厚真町	低層湿原、湖沼、河川	湿原植生	ウトナイ湖	ヨシ - イワノガリヤス群落、ヤチヤナギ - ムジナスゲ群落、ハンノキ林。水生植物群落は多様で、コウホネ群落、マコモ群落、スギナモ群落、ヒシ群落、タヌキモ群落、エゾノヒルムシロ群落、セキショウモ・クロモ群落。
					湿原植生	勇払平野湿原群（美々川湿原、トキサタマップ湿原、弁天沼、柏原東湿原、平木沼湖沼群朝日沼など）	安平川流域の湿原中心部は工業団地の開発によって消滅したが、美々川、トキサタマップ川、柏原台地、平木沼湖沼群朝日沼に残存する湿原群。道央部の湿原として重要。植生は低層湿原植生で、ヨシ - イワノガリヤス群落、ヤチヤナギ - ムジナスゲ群落、ヤマメスゲ群落、ヤチスゲ - サギスゲ群落、ハンノキ林。朝日沼にはヌマガヤ - ムジナスゲ群落。
					水草	弁天沼	勇払原野の湖沼植生が良好に維持されており、特にタヌキモ類の豊かさは類を見ない。
					水草	美々川	種の多様性に富む流水性水生植物群落が残存。
					ガン・カモ類	ウトナイ湖	オオハクチョウ、コハクチョウ、ヒシクイ(亜種ヒシクイおよびオオヒシクイ)、マガンの渡来地。
					ガン・カモ類	弁天沼	ヒシクイ（亜種ヒシクイおよびオオヒシクイ）、マガンの渡来地。
					昆虫類	ウトナイ湖湿原	イイジマルリボシヤンマ、カオジロトンボ、カワラハンミョウの生息地。
					昆虫類	美々川源流	セスジアカガネオサムシ、クマガイクロアオゴミムシ、カワラハンミョウ、ハナダカバチなどの生息地。
51	アツマ厚真水田・鶴川水田	北海道	勇払郡厚真町・鶴川町	水田	ガン・カモ類	厚真水田	ヒシクイ(亜種ヒシクイ)、マガンの渡来地。
					ガン・カモ類	鶴川水田	マガンの渡来地。
52	△ 鶴川河口	北海道	勇払郡鶴川町	河口干潟	シギ・チドリ類	鶴川河口	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多い。RDB種のセイタカシギ、ホウロクシギ、オオジシギが記録されている。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
53	クッタラ 倶多楽湖	北海道	白老郡白老町	湖沼	淡水藻類	倶多楽湖	絶滅危惧 類のカタシャジクモが生育。
54	シリベシ 後志山地湿原群（中山湿原、京 オロチ 極湿原、大蛇ヶ原湿原など）	北海道	札幌市、虻田郡京極 町	高層湿原	湿原植生	後志山地湿原群（中山 湿原、京極湿原、大蛇 ヶ原湿原など）	中山湿原はヌマガヤ - ホロムイソグケ群落、ミヤマイヌノハナヒゲ - ワタミズゴケ群落、ヌマガヤ - イボミズゴケ群落。大蛇ヶ原湿原はミヤマイヌノハナヒゲ - ワタミズゴケ群落、ヤチスゲ群落、ミカツキグサ群落、ミツガシワ群落、ショウジョウスゲ - イワイチョウ群落。京極湿原はミツガシワ群落、ヤチスゲ群落、イワイチョウ - ヌマガヤ群落、イワイチョウ - ショウジョウスゲ群落、イワイチョウ - ミズゴケ類群落、イワイチョウ - ミヤマイヌノハナヒゲ群落、イワイチョウ - イワノガリヤス群落、ワタスゲ - ヤチカワズスゲ群落、イワノガリヤス群落など。
55	キウシト湿原	北海道	登別市	低層湿原	湿原植生	キウシト湿原	ハンノキ - ヌマガヤ群落、ハンノキ - ノリウツギ - ヤマドリゼンマイ群落、ハンノキ - ヤチダモ林（ミズバショウ型）、エゾノコリンゴ群落、ミヤマイボタ群落、ノリウツギ群落、ハンノキ - ヌマガヤ群落にはツルコケモモ、ワラミズゴケ、ヤチヤナギ、ムジナスゲ、ヤチカワズスゲ、サワヒヨドリ、ゴウソなどが生育。
56	ニセコ連山の湿原群（神仙沼湿 メクンナイ 原、パンケ目国内湿原など）	北海道	虻田郡倶知安町、 ニセコ町、磯谷郡 蘭越町、岩内郡共 和町	高層湿原	湿原植生	ニセコ連山の湿原（神 仙沼湿原、パンケ目国 内湿原など）	神仙沼湿原はヌマガヤ - イボミズゴケ群落、ミヤマイヌノハナヒゲ - ワタミズゴケ群落、ホロムイソウ - ミカツキグサ群落、ミツガシワ群落、クロヌマハリイ群落、フトヒルムシロ群落、ミクリ属群落など。パンケ目国内湿原はイワイチョウの多いミヤマイヌノハナヒゲ - ワタミズゴケ群落で、東北地方山地湿原の植生に類似する。
					昆虫類	ニセコ山系の湿地群 （神仙沼、鏡沼、パン ケ目国内湿原、湯本温 泉付近、五色温泉な ど）	神仙沼（共和町）、鏡沼（倶知安町）、パンケ目国内湿原（蘭越町）、湯本温泉付近（蘭越町）、五色温泉（ニセコ町）などの湿地群で、カオジロトンボ、キイロマツモムシ、未記載のミズギワカメムシ、メススジゲンゴロウ等が多数生息している。特に、鏡沼ではカオジロトンボとギンヤンマが一緒に棲むという特殊な環境。
57	歌才湿原	北海道	寿都郡黒松内町	高層湿原	湿原植生	歌才湿原	面積4.5haで小規模な湿原であるが、南西部高層湿原植生の原型を残している。国道建設などにより、周辺域はシラカンバ - ササ群落に変化している。植生はヌマガヤ - イボミズゴケ群落、ヌマガヤ - ムジナスゲ群落、オオイヌノハナヒゲ - ミカツキグサ群落。イソツツジ、ガンコウラン、ハイイヌツゲなどが生育。
58	大沼	北海道	亀田郡七飯町	低層湿原、湖 沼	淡水貝類	大沼	エソドブシジミ、ヨコハマシジラガイ。種の多様性が高い（北方系と本州系貝類要素が混在する）。
59	汐首岬周辺沿岸	北海道	亀田郡恵山町・戸 井町	藻場	海藻	汐首岬周辺沿岸	恵山町大濁～戸井町小安の沿岸域。コンブ目6種。域内で寒暖両海流の消長に応じた両系海藻の分布限界が認められ、マコンブも形態的、生態的变化が知られる。
60	函館湾周辺沿岸	北海道	函館市、上磯郡上磯 町・木古内町、亀田 郡戸井町、茅部郡南 茅部町	浅海域	ガン・カモ類	函館湾	コクガンの渡来地。
61	泊村盃地区地先沿岸	北海道	古宇郡泊村	藻場	海藻	泊村盃地区地先沿岸	北海道日本海南北部のホソメコンブ群落は、無節サンゴモ群落が優占する海底よりも生物の多様性が高い。近年、コンブ群落の面積は磯焼けにより減少傾向にあり、群落の範囲は波打ち際に限られ、その希少性が高まっている。泊村盃地区は規模の大きいコンブ群落がある。ホソメコンブは一般的に1年生であるが、当地区では年によって2年生のコンブが出現する場所があり、磯焼け地帯の中で特殊な環境が維持されているものと見られる。